質疑一般質問

赤尾光一（あかお こういち） 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会（委員長）

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■多文化共生室

■熱海駅前広場渋滞問題

６月定例会質疑・一般質問の模様はこちらから

熱海市脱炭素ロードマップについて／求人サイト「もしあた」について

質問 熱海市脱炭素ロードマップについては、私も以前より再生可能エネルギーの積極的な導入を訴えていたので、大変嬉しいところであるが、どれほどの本気度を持って取り組まれていくのか。

答弁 循環型社会の形成のため、「ごみの削減・再利用・リサイクルの推進」を重視し、紙ごみ類に特化した回収・資源化を重点的に取り組みたい。

質問 他の自治体では、小中学校の生徒にもしっかりと教育しているところがある。どのような周知方法を考えているのか。

答弁 広報あたみや市のホームページ、SNSはもちろんのこと、町内会長連合会への説明会や全戸配布などを通じ周知を図っていく。また次世代教育としてのアースキッズ事業や、小学4年生が取り組んでいるエコ・プラント姫の沢見学の際などに、紙ごみ類の定義や仕分けも含めたごみの分別方法についても積極的に伝えていく。

質問 現在市がリクルートと提携して行っている、求人サイト「もしあた」の運営状況はいかがか。また、最近では「おてつたび」や「異世代ホームシェア」などの新しい求人方法もあるが検討状況は。

答弁 74人の方に応募いただき18件の採用に至っている。おてつたびは民間に任せ、異世代ホームシェアは検討していく。

泉明寺みずほ（せんみょうじ） 議員

自民党・女性の会

熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会

公共施設整備等特別委員会（副委員長）

その他の質問項目

■観光地で暮らす市民生活の質の向上

６月定例会質疑・一般質問の模様はこちらから

大災害時に備えた遺体収容所問題について／伊豆山土石流災害について

質問 伊豆山土石流災害を振り返った時、大災害時における遺体収容所の設置と運営には困難かつ多岐に渡る課題があると指摘された。平時からの周到な計画、訓練、関係機関の協力体制の構築に取り組む事は絶対に必要。設置場所は指定されているか。訓練の必要性についての認識は。

答弁 伊豆山土石流災害時は南熱海マリンホールを施設として設置、運営した。本市は平地が少なく、殆どが沿岸部であるという地形から、災害の特性を踏まえて場所を指定する。死者が発生するような災害時には相当の混乱が予想されるが、その様な中でも開設・運営できるよう訓練を積み上げる。

要望 ご遺体の尊厳を守り、敬意を失う事なく適切に取り扱うべく早期の指定、訓練を。

質問 復興計画が小規模住改から九割補助に変更された現状があり復興事業完成を二年後としている現在、「伊豆山復興の達成度」「伊豆山地区の安全性」に関する内容を追加し、全被災者に対する意向調査を実施してはどうか。

答弁 計画策定後も面談や電話により意見・意向をお伺いしている。情報を共有し、説明会でもアンケートを実施して意向の確認はしている。

意見 意向調査で被災者全員の問題点を抽出し、対応策を立て説明会で理解を得るのがあるべき取組の手順である。

※＿＿で表記されている言葉については、Ｐ８の解説を御参照ください。